

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	小規模保育所ハーモニー・キッズ
法人名	有限会社ハーモニー・キッズ
法人所在地	杉並区高井戸東2-29-13

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

・自然

<テーマの設定理由>

私たちの保育園は小さな保育園で、家庭のような温かい雰囲気の中、すべての保育者が子どもたち一人一人と丁寧に関わっています。散歩中には、季節ごとに様々な花や木の実を見つけることができます。春にはタンポポや桜の花びら、夏には青々とした葉や木の実、秋にはドングリや紅葉した葉、冬には落ち葉や木の枝など、自然物との出会いが沢山あります。こうした自然物に触れたり拾ったりすることで、子どもたちは興味を持つことができます。実際に手に取ることで自然がより身近なものとなり、大切にする気持ちが育まれると考えています。

## 2. 活動スケジュール

6月・自然探し散歩。・水遊び、泥遊び（自然の感触を楽しむ）7月・夏の生き物観察（セミ探し・虫の声聞く）8月・夏まつり準備（お店屋さんごっこ）9月・ドングリ拾い落ち葉拾い。秋の虫し。  
10月 ハロウィンバッグ作り。11月・サツマイモ堀 スイートポテト作り、サツマイモの蔓でリース作り。12月・クリスマス会、チューリップ植え。2月・節分・霜柱の観察 3月・ひな祭り制作  
チューリップの観察。

**毎月2回 講師によるリトミック。毎月1回サーキット遊び。**

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

絵本 どうぐり（大日本図書）ばけばけはっぱ（ハッピーオウル社）さわってごらんふしぎなふしぎなまほうの木（ひさかたチャイルド）いろいろはっぱ（アリス館）/講談社図鑑MOVE初めての図鑑シリーズ（のりもの 植物）/チューリップ球根/絵の具

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

散歩では、季節の花を観察したりドングリを拾ったりして、自然に触れる機会を大切にしました。また、畑ではサツマイモ堀を体験し、収穫したサツマイモの蔓を使ってリース作りをしたり、食育としてスイートポテト作りを楽しんだりすることで、食べ物の関心を深めました。さらにチューリップの球根を植え、水やりをしながら成長を見守ることで「大きくなったね」「葉っぱが増えたね」と変化に気づき植物への親しみを感じることができました。またドングリや葉っぱを使った制作を楽しみました。さらに図鑑を使って実際のものを見比べるなど身近な自然に関心を持てるようにしました。

### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

活動中の子どもたちは自然に触れながら様々な発見を楽しんでいました。サツマイモ掘りでは、「大きいお芋取れた」と喜び、スイートポテト作りでは「ゴロゴロ」と形を楽しみながら調理に挑戦しました。秋の散歩では「赤い葉っぱだね」と保育者や友だちと一緒に季節の変化に気づき、「この葉っぱでお化けができたよ」と想像力を膨らませて自然を楽しむ姿が見られました。チューリップの球根を植えたあとは「チューリップたのしみだね」「まだ咲かないね」など成長を楽しみに待つ姿がありました。



### 5. 振り返り

#### <振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは、自然に触れる中で自ら気づきを得たり発見を楽しんだりする姿が多く見られました。例えば、サツマイモ掘りでは「大きいのが取れた」「ミミズがいたよ」などと喜び、秋の散歩では「葉っぱのあめ」と言って落ち葉を集めて雨に見立てて降らせるなど、自然を通じた遊びが広がっていきました。さらに、チューリップの球根を植えた際には「まだ咲かないね」などと成長を待ちわびる声が聞かれ継続的な活動を通して、子どもたちが自然の変化を楽しみにできる環境を大切にしていきたいと感じました。これらの気づきを踏まえ、今後も子どもたちの興味や発見を大切にしながら主体的に関われる活動を工夫しながら取り組んでいきたいと思います。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	小規模保育所ハーモニー・キッズ
法人名	有限会社ハーモニー・キッズ
法人所在地	杉並区高井戸東2-29-13

## 2. 活動のテーマ

<テーマ>

・生き物

<テーマの設定理由>

散歩中に出会う生き物の動きを真似することは、子どもたちにとって楽しい経験となります。例えば、鯉がゆったり泳ぐ様子を手を大きく動かして表現したり、カモがよちよち歩く姿を真似することで生き物の動きを体感できます。また、バッタのようにぴょんぴょん跳ねたり、風邪に揺れる稲の様に身体を左右に揺らすことで、自然のリズムを感じながら遊ぶ事ができます。さらに、ネコがのんびり歩いたり伸びをする様子を真似することで、生き物のしなやかな動きを楽しむことができます。こうした活動を通して生き物の関心を深め興味を広げていくことができると考えました。

## 2. 活動スケジュール

6月・自然探し散歩。・水遊び、泥遊び（自然の感触を楽しむ）7月・夏の生き物観察（セミ探し・虫の声聞く）8月・夏まつり準備（お店屋さんごっこ）9月・ドングリ拾い落ち葉拾い。秋の虫し。  
10月・運動会 1月・親子リトミック。

**毎月2回 講師によるリトミック。毎月1回サーキット遊び。**

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

トランポリンクッション/コイルスプリング/バランスストーン/ケンケンパリング  
マット/ バランスレール/ ソフトブロックプレイマット/ボール/ジョイント縄跳び/チューリップ球  
根/リトミック講師

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

散歩中にカモや鯉、犬、トンボなどの生き物を観察し、写真を撮ったり図鑑で調べたりすることで興味を深めました。また、サーキット遊びではバッタのように跳ねたりカモのようによちよち歩いたりして体を使って楽しみ、リトミックでは音楽に合わせて生き物の動きを表現しました。さらに、保護者の理解を深めるために親子リトミックを開催し、子どもたちがのびのびと体を動かす様子を共有しました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

活動中の子どもたちはカモの泳ぎやトンボの跳んでいる姿をじっと見て『どこにいくのかな?』と興味を持つ姿が見られました。保育者が「バッタはどうやって跳ぶかな?」と問いかけると、子どもたちは実際にはねてみたり、鯉のように手を動かして泳ぐ真似をしたりと楽しみながら生き物の動きを表現していました。サーキット遊びでは、カモのよちよち歩きを面白がって真似したり、トカゲのように体を低くして進んだりする姿がみられ、友だちと一緒に動きを考える様子もありました。親子リトミックでは、保護者と一緒にネコの伸びを表現するなど、安心感の中でのびのびと体を動かし、保護者からも「また参加したい」「楽しかった」と好評の声が聞かれました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは、生き物の動きを真似することで、自然や生き物への関心を深めていることに気づきました。散歩中の小さな発見が遊びにつながりサーキット遊びやリトミックの中でさらに表現を楽しむ姿が見られました。また、親子リトミックを通して、保護者と一緒に身体を動かすことで安心感を持ちながら意欲的に取り組めることも感じました。今後も日常の中で子どもたちの気づきを大切に、遊びや活動に繋げていく工夫をしていきたいと考えます。